

# 吉川市誕生～市制施行20周年

- 平成8(1996)年 4月1日に市制を施行し、「吉川市」となる。人口は53,443人。市制記念事業として、アメリカ合衆国レイクオスエゴ市と国際友好姉妹都市を締結。
- 平成9(1997)年 岩手県室根村(現一関市)と友好提携を締結。
- 平成11(1999)年 市民交流センターおあしす・市立図書館がオープンする。
- 平成13(2001)年 吉川駅前にラッピーランドがオープンする。きらっと吉川21「健康福祉とスポーツのまちづくり」宣言。
- 平成14(2002)年 第4次吉川市総合振興計画がスタート。アクアパーク調整池公園ができる。なまずの里公園ができる。平沼地区公民館を併設した吉川小学校新校舎が完成する。子育て支援センター、ファミリーサポートセンターが開設する。
- 平成16(2004)年 市役所本庁舎、出先機関を含めたISO9001の認証を県内で初取得。彩の国まごころ国体ハンドボール競技(少年女子)を開催。吉川消防署南分署を開署。
- 平成17(2005)年 市役所総合窓口を開設。
- 平成18(2006)年 安全安心都市宣言を行う。ペットボトルの分別収集を開始。市税などのコンビニエンスストアでの納付取り扱いを開始。
- 平成19(2007)年 わがまち防犯隊連絡会を設立。
- 平成20(2008)年 保第2公園防犯活動ステーションが開所。高校総体の女子ハンドボール競技を開催。
- 平成21(2009)年 屋外市民プールが2年ぶりにリニューアルオープン。一人暮らしの高齢者などへ「安心リユック」を配布。
- 平成22(2010)年 障害者福祉サービス事業所「吉川フレンドパークあいらんど」がオープン。病児・病後児保育事業を開始。市イメージキャラクター「なまりん」デビュー。
- 平成23(2011)年 東日本大震災発生、吉川では震度5強を観測。
- 平成24(2012)年 JR武蔵野線「吉川美南駅」開業。第5次吉川市総合振興計画を策定。
- 平成25(2013)年 美南小学校が開校。吉川橋の架け替え工事が始まる。
- 平成27(2015)年 市の人口が7万人に到達。
- 平成28(2016)年 4月1日、市制施行20周年を迎える。
- 平成29(2017)年 全国初の「全国なまずサミット2017 in 吉川」を市民交流センターおあしすで開催。



平成15(2003)年4月  
吉川小学校新校舎にて授業開始



平成16(2004)年10月  
彩の国まごころ国体ハンドボール競技



平成17(2005)年5月  
市役所総合窓口開設

## From a Town to a City, the Progress of the Last 20 Years

In 1996, Yoshikawa Town underwent municipal organization and became Yoshikawa City, with a population of 53,443 people. Over the next 20 years the city built relationships with other cities both in Japan and the U.S., and developed its infrastructure. In 2012, the Yoshikawa Minami Station opened on the former site of the Musashino freight train yard, and became the center of a new stage of city development. The 5th Yoshikawa City Promotion Plan was formed in the same year, and set the goal of "Yoshikawa - A Serene City where the People and City Shine." In 2016 the city reached a population of 70,000. Yoshikawa City is now striving to make a further leap to become a mature city where each individual can feel comfort and happiness in their daily lives.

平成9(1997)年4月  
岩手県室根村との友好提携協約に調印



平成14(2002)年8月  
アクアパークオープン



平成8(1996)年4月  
1日の市制施行により、「吉川市」が誕生



平成8(1996)年のアメリカ合衆国レイクオスエゴ市との友好姉妹都市締結の調印式



平成11(1999)年  
市民交流センターおあしすオープン



**町から市に。市制施行から20年の歩み**  
平成8(1996)年、吉川町が市制を施行し、人口5万3443人の「吉川市」が誕生しました。市制記念事業として、アメリカ合衆国レイクオスエゴ市と国際友好姉妹都市を締結し、さらに岩手県室根村(現一関市)とも友好提携を締結。以来、国内外において市民交流事業が積極的に展開されるようになりました。  
平成14(2002)年には、第4次吉川市総合振興計画を策定。「ひとに優しさ まちに安らぎ 未来に夢ある みんなのよしかわ」市民主役の都市構想」を将来像としたまちづくりが進められました。核家族化や高齢化社会への対応が課題となることから、地域コミュニティの形成や福祉の充実を図って、子育て支援センター、ファミリーサポートセンター、障害者福祉サービス事業所「吉川フレンドパークあいらんど」などがオープンしました。  
平成24(2012)年には、武蔵野操車場跡地に「吉川美南駅」が開業。駅周辺に新たなまちづくりが進んでおり、市発展の新たな拠点形成されようとしています。また、この年、第5次吉川市総合振興計画が策定され、「人とまちが輝く 快適都市 よしかわ」の将来像を目指し、新たなまちづくりもスタート。平成27(2015)年には、市の人口が7万人を突破しました。  
市民一人ひとりが住みよさと幸せを実感できる成熟した街に向けて、今、吉川市はさらなる飛躍を遂げようとしています。